



2022 年度  
第 38 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

1  
李ギュヒョン性暴行事件を  
逃した  
スポーツ倫理センターの  
形骸化また'まな板'に



2  
体操協会の元幹部  
1 審の罰金に  
不服で控訴



3  
スポーツ「酷使」  
強要プロスポーツの  
最大の被害者は  
選手・ファン



4  
メダル戦士に  
執着するのはもうやめて  
スポーツ人権改善に  
乗り出す時



5  
足を失って  
陸上選手になった彼…  
メダルを取った後  
ソウル大学院生になった



大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



## 01 ノーカットニュース 2022.09.21

李ギョヒョン性暴行事件を逃したスポーツ倫理センターの形骸化  
また'まな板'に

フィギュアスケート李ギョヒョンコーチの弟子への性暴行事件で'スポーツ界、性暴力'問題が再びまな板上に上がった。

李容疑者が犯行を犯して捜査が開始されてから6ヵ月経った後も、大韓スケート競技連盟とスポーツ倫理センターは、事件を認知できずにいたが、スポーツ界の不正を事前に把握し、調査しなければならない機構が直ちに対応や事後措置に完全に失敗したも同然であり、議論が予想される。

専門家たちは、スポーツ倫理センターが捜査権限がないという点、懲戒権は依然として大韓体育会において、事実上の調査以上の権限がない点などを挙げて事実上犯罪被害の対応に形骸化した機構に転落していると指摘した。

スポーツ倫理センター'司法警察団'法案上程...'懲戒権'も大韓体育会に

2019年スポーツ界MeTooと趙ジェボム事件、2020年6月トライアスロン(鉄人3種)国家代表の崔スクヒョン選手自殺事件が相次いで発生し、スポーツ界に蔓延した暴力に対する自省の声が大きくなった。そして2020年8月、スポーツ分野の不正を独立的に調査する「スポーツ倫理センター」が新設された。

以前にも大韓体育会内の「スポーツ人権センター」が運営されたが、内部不正問題が発生した場合、独立的な調査が難しいという判断で文化体育観光部傘下の法人機構に分離された。

センターが新設され、指導者の(性)暴力などスポーツ不正を知った場合、必ずスポーツ倫理センターに申告しなければならない規定ができた。また、直接捜査できる権限を付与するために「特別司法警察制」運営計画を立てた。

しかし設立2年が過ぎた現在、スポーツ倫理センター内の司法警察官制度は関連法案が国会を通過できず施行されずにいる。

スポーツ界関係者たちは「現在、スポーツ倫理センターには懲戒権・強制調査権なしに単純調査権だけがある」とし、「事実上調査自体に対する動力も失うほかはない」と口をそろえた。

文化連帯のハム・ウンジュ執行委員はCBSノーカットニュースとの通話で「倫理センターができた趣旨が体育界内部の温情主義、閉鎖性、派閥主義を打破し独立的に動かせるようにすることだが、最も重要な懲戒権が依然として大韓体育会内部にある」と指摘した。

スポーツ不正に対する懲戒は、さまざまな段階を経て行われる。まず、スポーツ倫理センターが最初に申告を受け付けた後、調査を進める。調査の結果、懲戒が必要だと判断された場合、文化体育観光部に懲戒要請・勧告事項を報告する。該当報告を文体部が大韓体育会に伝達すれば大韓体育会傘下の各種目団体(協会、連盟)が「スポーツ公正委員会」を開き最終的に懲戒強度を決め処分を下す構造だ。

ハム委員は「倫理センター内の懲戒権がないということは何の権限もないということと同じ」とし、「結局、懲戒権限は各種目団体にあることであり、スポーツ公正委員会でいくらかでも倫理センターの本来の勧告が変わりうるという点が最も大きな問題だ」と説明した。

続けて「司法警察制度を運営する予定だと言って、現在倫理センター長も警察出身として仕えたと聞いているが、司法警察制導入法案がまだ係留中だ」とし、「捜査権も保障されないため、協会の助けを受けなければ独立的に調査することも難しい状況だ」と明らかにした。

それと共に「調査権限、懲戒権限がまともに担保されていない状況で倫理センターが出発した結果、今本来の機能を果たせない状況まで来た」とし、「単純に倫理センターが仕事が下手だと片付けることができる問題ではない。生まれつきこのようにならざるを得なかった」と付け加えた。

体育市民連帯関係者 A 氏もまた「強制調査権」なしにはスポーツ倫理センターの犯罪予防、認知調査などに限界があると説明した。

A 氏は「国民体育振興法によると、すべての疑い事案はスポーツ倫理センターに申告することになっているにもかかわらず、検察や警察のように調査の専門性が蓄積されているわけではない」とし、「強制調査権を付与して専門性を備えてこそ倫理センターが本来の役割を果たすことができる」と説明した。

倫理センターは「除名勧告」…実際には「単純警告」、ギャップが大きい

スポーツ倫理センターの事情をよく知っているある関係者 B 氏は、「調査主体と懲戒主体が異なるため、倫理センターで勧告した懲戒と実際の懲戒レベルが異なる場合がよくある」と話した。

B 氏は「倫理センターが要請・勧告した懲戒レベルとスポーツ公正委員会が最終的に下す懲戒が変わる場合が多い」とし、「例えばセンターは資格取り消しや停止 1~3 年程度と議決したが、公正取引委員会ではそのまま警告程度で終わらせる場合がある。このような時に限界を感じる」と述べた。

彼は「(そのため) 法律をよく知っている人はセンターの調査結果をそれほど恐れないこともある」と付け加えた。

B 氏は「江原道陸上連盟の場合、連盟会長が学生たちをいじめ奴隷にしたという報道が出てきて、センターで調査後に懲戒要請したが懲戒を受けなかった」とし、「江原道陸上連盟会長が自らに懲戒を下すことはないのではないか」とし、「大韓体育会で文体部を通じて江原道陸上連盟に(懲戒)下したところで、それができない」と自主懲戒権がなければならないことを強調した。

一方、7日 CBS ノーカットニュース単独報道で李ギュヒョンコーチの未成年弟子への性暴行事件が知らされ、大韓スケート競技連盟は「マスコミ報道を通じて事件を知った。被害者が誰なのかも知らず状況を把握中だ」という立場を明らかにした。以後、団体はスポーツ倫理センターを通じて調査を行った後、結果によって懲戒可否を決めることにした。

議政府地裁南楊州支院刑事合議 1 部 (朴玉熙部長判事) は 19 日、性暴力犯罪の処罰などに関する特例法違反などで起訴された被告人がコーチに対する初裁判を開いた。彼は今年初め、自分が教えていた 10 代の教え子を強制わいせつし強姦しようとしたが未遂に終わった容疑などで拘束起訴された。動画を不法撮影した疑いも持たれている。裁判でイ氏の弁護人は「醜行と動画撮影は認めるが強姦未遂は事実ではない」と一部の容疑を否認した。

出典：<https://www.nocutnews.co.kr/news/5820439>

## 02 ニュース 2022. 09. 25

### 体操協会の元幹部、1 審の罰金に不服で控訴



セクハラ加害者と名指しされるや、恋人関係だと言って回り、名誉を毀損した疑いで裁判にかけられた大韓体操協会の元幹部が、1 審罰金刑に不服として控訴した。

25 日、裁判所によると、名誉毀損の疑いで起訴された体操協会の元幹部、金某氏（65）は 23 日、1 審の罰金 500 万ウォンを不服とし、ソウル東部地

裁に控訴状を提出した。

金氏は新体操の李ギョンヒ元代表コーチが自分から 3 年間セクハラを受けたと暴露するや、周辺の人々に自分と恋人関係だったと虚偽事実を流布した疑いで裁判に付された。

金氏は罰金 300 万ウォンの略式命令を受けたが、裁判所の判断に従わず正式裁判を受けてきた。

1 審裁判所は 16 日、金氏に検察求刑額 300 万ウォンより高い罰金 500 万ウォンを宣告した。

出典：[https://newsis.com/view/?id=NISX20220925\\_0002025563&cID=10201&pID=10200](https://newsis.com/view/?id=NISX20220925_0002025563&cID=10201&pID=10200)

## 03 文化日報 2022. 09. 24

### スポーツ「酷使」強要、プロスポーツの最大の被害者は選手・ファン



LIV ゴルフインビテーショナル(LIV)は 6 月に初大会を行ったが、それ以前から注目を集めていた。LIV はサウジアラビア資本が元手。サウジアラビアがスポーツを通じてテロ、民間人射殺、人権蹂躪という汚名を晴らそうとしているという主張が提起されたためだけではない。米プロゴルフ (PGA) ツアーなどとは違って「余裕」を選手たちに保障したことも LIV の認知度を高めた。

LIV は第 3 ラウンド、54 ホールで大会を行う。PGA を含め、一般的なツアーは 4 ラウンドだ。そして LIV 大会数ははるかに少ない。LIV が 6 月に公式発足したので、次の日程を比較した方が良いでしょう。LIV は来年 14 大会を行う。一方、PGA ツアー 2022~23 シーズンは計 47 大会だ。大会別賞金は LIV がはるかに多い。そのため、LIV はゴルフのワーク・ライフ・バランスに例えられる。長打者ブライソン・ディシェンボ (米国) は LIV に移った理由として、「余裕のある日程、ゴルフと生活のバランス」を挙げた。選手の大会参加は労働だ。大会参加のために訓練して出場し賞金、すなわち賃金を受け取る。PGA ツアー選手たちは年に 24~30 大会を行う。30 回以上出場する事例も少なくない。出場が多ければ多いほど、家族と一緒に過ごす時間は減るしかない。LIV はこのような点に食い込んで少ない出場、多くの賞金という甘い実を提示し、ディシェンボやダスティン・ジョンソン (米国) らスター級が LIV に移った。出場数は特に競技力に大きな影響を及ぼす。出場するたびに肉体的な疲労、情緒的なストレスがたまるからだ。

ところが、韓国スポーツでワーク・ライフ・バランスは夢見ることすら難しい。プロ野球 KBO リーグが終盤戦に突き進んでいるが、正規リーグの後にはもう一つのイベント、ポストシーズンが行われる。KBO 正

規リーグは1チーム当たり144試合。米大リーグ（MLB）は1チーム当たり162試合でKBOより試合数が多いが、その分、いやそれ以上にMLBの選手層は厚い。

144試合を休みなしに、1日1試合ずつ行くと仮定すれば、5ヵ月近く毎日のように情けの無い勝負を繰り返すことになる。恒例行事のようにポストシーズンを控えて負傷者が大挙発生する理由だ。負傷を避けても体力が落ちて競技力が低下したりする。

プロバスケットボールKBLも同じだ。10月15日、2022～2023シーズンに突入し、チーム当たり54試合を行う。やはり人的資源に比べて試合数が多い方で、レギュラーシーズンでも頻繁に負傷者が出て頭を悩ませている。

試合数が多いのは理由がある。国内プロスポーツは大企業依存度が高い。企業がプロ球団を運営するのはブランド価値を高める広報効果のためだ。巨額を投資して球団を運営する企業はメディア露出の極大化を望んでおり、これによって試合数は増え続けてきた。ところが「量」に焦点を合わせているため「質」の下落という副作用が伴うほかはない。選手の労働強度、労働時間が増えたために大小の負傷に苦しめられ戦力から離脱する事例は毎日のように出ている。

品質低下は商品の信頼度に悪影響を及ぼす。スポーツの競技力低下は競争力低下、全般的な戦力下方平準化につながる。その上、露出、すなわち中継放送回数が視聴率につながるわけでは決してない。高品質の商品満足度が高いもの。これからはスポーツという商品の質的向上に悩む時だ。

出典：<http://www.munhwa.com/news/view.html?no=2022092401039910175001>

## 04 江原ニュース 2022. 09. 26

### メダル戦士に執着するのはもうやめて、スポーツ人権改善に乗り出す時



韓国には2つのスポーツがある。メダルを取るスポーツと生活としてのスポーツだ。特に国家主導の体育政策とエリートスポーツ主義は「メダル戦士」として若い生徒たちの育成に力を注ぐ。若い世代はすでに韓国を先進国と認識しているが、大人だけが国威宣揚の強迫にとらわれ、スポーツの構造的問題がなかなか改善されずにいる。このような構造に選手たちの人権は常に立つ瀬がない。

この20年間、韓国社会で人権は明確な発展を遂げてきたが、特にスポーツ界は遅れている。体育界の性暴力問題は2008年言論報道で暴露された直後、政府が根絶対策を出したが、2019年スケートと柔道種目で再び発生した。2020年には常習暴行とパワハラにあったトライアスロン選手が「その人たちの罪を明らかにしてほしい」と自ら命を絶った。

2020年に改正された国民体育振興法は目的条項に「国威宣揚」を削除する代わりに、「体育人の人権を保護」という文句を追加して立法趣旨を明確にした。職場運動競技部の不公正契約を防げるよう標準契約書を普及し、体育指導者研修過程に暴力予防教育を含ませ、関連犯罪に対する体育指導者の欠格事由基準も強化した。スポーツ不正や体育界の人権侵害に対しては、名簿公開措置とともに懲戒情報システムを構築するようにした。文化体育観光部傘下に新設されたスポーツ倫理センターは申告受付と調査を行い告発と懲戒要求ができる権限も付与されるなど再発防止のための強力な立法手段が動員された。

その後、2021年にはスポーツクラブ法、スポーツ基本法などが新たに制定された。スポーツクラブ法は地域社会会員で構成された定期的な体育活動振興団体であるスポーツクラブを前面に出しながら、既存の

学校運動部や同好人など組織体を再編しようとする政策意図を反映したものだ。また、スポーツ基本法は「すべての国民はスポーツおよび身体活動で差別を受けずに自由にスポーツ活動に参加し、スポーツを享受する権利を持つ」という国民の「スポーツ権」を明らかにし、関連施策に対する国家と地方自治体の責務を宣言した。

また、政府はスポーツ4大悪を根絶するとしてスポーツ倫理センターを発足させたが、存在は薄い。事件が起きるたびに毎回出てくる対策は、以前の対策をそのまま写した水準に過ぎない。暴言と暴行をしない1次的人権保障のための努力さえまともになされていない実情だ。不人気種目の陸上、体操、近代五種などは国が体育中・高校に予算を投入して養成する。この過程で若い選手たちの体が壊れるのも問題だ。ユン・ソクヨル政府は学生選手が小・中等義務教育授業を受けなくても良い方案を推進すると話した。これは「生徒たちの学習権が侵害されるだろう」若い生徒たちを運動の中に孤立させ、落伍する瞬間に行き場がなくなるようにすれば、子供たちは各種暴力に抵抗できないまま耐えざるを得ない境遇になる。運動後の未来を夢見にくくすることでもある。スポーツを生活の一部として楽しみ、国家がメダルに対する執着から手放すことで、スポーツ人権改善の解決策を見出さなければならないだろう。

出典：<http://www.kwnews.co.kr/page/view/2022092209280138720>

## 05 中央日報 2022.09.24

### 足を失って陸上選手になった彼…メダルを取った後、ソウル大学院生になった



2014年チュニジア国際障害者オリンピック委員会（IPC）グランプリ男子T44（障害陸上種目分類、切断およびその他障害）200m銀メダル（27.71秒）。T42～T44 100m銅メダル（13.00秒）。インドパラリンピック選手出身で、現在ソウル大学大学院で修士課程を踏んでいるマニッシュ・パンデー

（30）の記録だ。「なんとか卒業して就職」するつもりだった経営学科の学生は、足の切断事故後、いきなり陸上選手になった。メダルを取った後、韓国に来て体育学を勉強している彼は「ジェットコースターのような人生だった」と振り返った。

#### 運命を分かっ通学路

2011年4月2日午後3時。パンデーは自身の人生が「180度Uターン」するようになった瞬間をはっきりと記憶していた。クリケットW杯決勝戦でインドとスリランカが対決した日だった。ザイプール・マニール大学経営学科1年生だったパンデーは、授業を終えて家に帰っていた。普段はバスに乗って通学したが、その日だけは列車に乗った。「列車に乗れば家にもっと早く帰れるので、早く帰って試合を見るつもりだった」ということだった。

家の方向に行く列車は混雑した。列車のドアの近くに立っていたパンデーは、人波に押されて運行中だった列車から落ちた。線路に落ちた彼の右足の上を列車が通り過ぎた。彼は「インドの列車は大部分常にドアが開いている」として「すべてのことがあまりにも突然起きた。最初はということなのか分からなかった」と話した。病院に運ばれる途中、彼は意識を失った。

目が覚めた時、彼が医療スタッフに一番先に聞いたのはインドがクリケットワールドカップで優勝したかどうかだったという。優勝の知らせに快哉を叫んだのもつかの間、パンデーは右足の膝下部分が切断され

たという事実に気づいた。パンデイは「再び歩けないかもしれないという事実が衝撃的だった。とても憂鬱で事故後、ほぼ6カ月間部屋に閉じこもっていた」とし、「大学も辞めた」と話した。

しかし、病院の診療費で家族に借金が増えていくと、彼は再び立ち上がった。リハビリ治療を受け始めたパンデーは事故の約1年後、義足をつけて一人で歩ける水準になり、2012年からインドのカルナータカ州バンガロールのある会社のコールセンターで働き始めた。彼はその時、パラリンピックについて初めて知ったと話した。

パンデーは「パラリンピックは当時、インドではあまり知られていなかった。バンガロールにインドパラリンピック委員会本部があり、初めてパラリンピックという世界を知ることになった」として「足がなくてもスポーツ分野でキャリアを作る人がいるということを知り、私も何かできると思った」と話した。

障害者陸上種目に参加するためには4000～5000ドル（約563～704万ウォン）の陸上競技用義足が必要だということを知った彼は義足を作る会社にEメールを送って協賛を要請し、2013年にある会社から競技用義足の支援を受けてインドのテルランガーナ州ハイデラバードのあるセンターで訓練に乗り出した。そして1年ぶりに出場した競技で、彼はメダルを取る快挙を成し遂げた。パンデイは「幼い頃から勉強より運動がもっと良かった。成績が良くない分、運動が上手だった。だが、すべての中産層インド家族がそうであるように、父親は私が大学を卒業して平凡な職業を持つことを願った」として「幼い頃に成し遂げられなかったことを、事故後に成し遂げることになった」と笑った。

#### 大学院生になった障害者陸上競技選手

彼は最近では走りやスポーツ学を勉強している。現実的限界にぶつかる。パンデーは「陸上をするためにはほぼ6～7ヶ月ごとに新しい義足をつけなければならないが、協賛を受けてもその費用は困難だった。一方、世界レベルの選手たちはほとんどがもっと高く良い競技用の義足を持っていた」とし「学問としてスポーツをもっと学ばなければならないと考えようになった」と話した。

ザイプル・マニパル大学体育学科に再入学した彼は、卒業後韓国に来て昨年ソウル大学師範学部体育教育科グローバルスポーツマネジメント専攻修士課程に入学した。ソウル大学が文化体育観光部と国民体育振興公団の支援を受けて運営する発展途上国スポーツ行政家養成課程の対象者に選定されたりもした。パンデーは「韓国はスポーツを愛する人たちのハブ」とし「韓国は堅固で広範囲なスポーツインフラを備えており、ワールドカップなどスポーツイベントの主宰経験も多い」と韓国行きの理由を説明した。

彼は最も記憶に残る瞬間としてメダルを取った後、インドで開かれた行事で片足切断手術を受けた患者が「極端な選択をしようとしたが、あなたを見て考えが変わった」と話してくれた時を挙げた。パンデーは「障害者の人生に私が何か変化をもたらすことができたという考えで嬉しかった」とし、「卒業後、国際障害者オリンピック委員会で働きながらインドと韓国、全世界が障害者をよりよく包容できるよう変化を導いていきたい」と話した。

出典：<https://www.joongang.co.kr/article/25104180>



## 06 週刊スポーツニュース

88 オリンピック精神で…韓国、世界のスポーツをリードする時

<https://www.mk.co.kr/news/sports/view/2022/09/839539/>

群山の小学校野球監督が選手暴行…警察捜査

<https://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=5560837&ref=A>

ユン・イナ、出場停止3年…容易でない選手復帰、海外に目を向けるか

[https://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20220920500178&wlog\\_tag3=naver](https://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20220920500178&wlog_tag3=naver)

スポーツ人権アップ…蔚山教育庁、学校運動部選手の円卓討論

[https://newsis.com/view/?id=NISX20220923\\_0002024034&cID=10899&pID=10800](https://newsis.com/view/?id=NISX20220923_0002024034&cID=10899&pID=10800)

不法スポーツ賭博サイトが横行する理由があった…遮断検去率半分

<https://www.newsl.kr/articles/4812980>

明日からスポーツ競技場でも「ノーマスク」

[https://newsis.com/view/?id=NISI20220925\\_0019286401](https://newsis.com/view/?id=NISI20220925_0019286401)

[キム・セフンのスポーツ IN] 運動と学習、共存法は多い。

[https://sports.khan.co.kr/sports/sk\\_index.html?art\\_id=202209261359003&sec\\_id=530101&pt=nv](https://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202209261359003&sec_id=530101&pt=nv)

全羅南道・慶尚北道がスポーツで一つになる

<http://www.kjdaily.com/article.php?aid=1664101666584817007>

国民体育振興公団、「2022 レジャースポーツフェスティバル」開催

<https://www.asiatoday.co.kr/view.php?key=20220926010014356>



# 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。  
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

## INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : [sports-cm@hanmail.net](mailto:sports-cm@hanmail.net) ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 [jrlfep@gmail.com](mailto:jrlfep@gmail.com)

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>